

31 番の歌 神と共に歩む

エホバとイエスに倣った考え方をする

「キリストは人間として苦しんだのですから、皆さんもキリストと同じ精神を身に着けてください」。ペテロ第一 4:1 キリストは人間として苦しんだのですから、皆さんもキリストと同じ精神を身に着けて(*決意を抱いて)ください。苦しんだ人は、罪を捨てた人なのです。

ポイント：使徒ペテロはイエスの考え方から大切なことを学びました。
私たちはどんなことを学べますか。

1-2. (ア) エホバを愛するとはどういうことですか。 (イ) イエスはどのようにエホバを愛しましたか。

「あなたは、心を尽くし、力を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない」。 (←ルカ 10:27) イエスはこれがモーセの律法の中で一番大切なおきてだと分かっていました。(ア)私たちは「①心を尽くしてエホバを愛します。それには私たちの感情、願い、気持ちに関わっています。また、②自分の持つエネルギーを使い、力を尽くしてエホバを愛します。さらに、③知力を尽くしてエホバを愛します。そのためにはどんな考え方をするか」が大切です。」エホバを愛している人はエホバに倣った考え方をしたいと思っています。もちろん、私たちはエホバの考えを完全につかむことはできません。でも「キリストの考え」を学ぶなら、理解を深めていくことはできます。イエスはいつもお父さんエホバと同じ考え方をしていたからです。(コリ一 2:16 「エホバの考えを知るようになって、その方を教えられる人などいるでしょうか」。とはいえ、私たちはキリストの考えを知っています。と注釈「私たちはキリストの考えを知っています」の項目。資料不明?)

2(イ)イエスは知力を尽くしてエホバを愛しました。エホバが自分にどんなことを望んでいるかを知っていて、その通りに行動する決意でいました。たとえ苦しむことになったとしてもです。イエスはいつもエホバに喜ばれる生き方をすると心に決めていて、ぶれずにその生き方を貫きました。

3. ペテロはイエスから何を学びましたか。クリスチャンにどんなことを勧めましたか。(ペテロ第一 4:1)

3 ペテロと使徒たちは、イエスと一緒に過ごしてイエスの考え方をじかに学びました。ペテロは聖なる力に導かれて書いた手紙の中で、キリストと同じ精神を身に着けるよう勧めました。*ペテロ第一 4章 1節の「精神」という言葉は「考え方、物の見方」などとも訳せます。(ペテロ第一 4:1 キリストは人間として苦しんだのですから、皆さんもキリストと同じ精神を身に着けて(*決意を抱いて)ください。苦しんだ人は、罪を捨てた人なのです。を読む。) ここでペテロが使った「身に着ける」に当たるギリシャ語は、兵士が戦いの装備をすることを意味する軍事用語です。クリスチ

ヤンがイエスの精神つまり考え方に倣うなら、強力な武器を身に着けられるということです。その武器があれば、悪いことをしたいという欲望や、サタンの世界と戦うことができます。（[コリ二 10:3-5](#) 私たちは人間として生きていますが、人間的な方法で戦ってはいません。4 私たちの戦いのための武器は人間的なものではなく、神によって強力にされたものであり、要塞のように強固なものを打ち碎きます。5 私たちは、神の知識に逆らって立つ一切の高い障壁や、さまざまな理論を打ち砕いています。また、一切の考えをいわば捕虜にし、キリストに従わせています。[エフエ 6:12](#) 私たちは戦って(*格闘をして)いるからです。人間とではなく、政府や権威、この闇の世の支配者たち、天にいる邪悪な天使の勢力と戦っています。)

4. ペテロのアドバイスに従うためにこの記事ではどんなことを学びますか。

4 では、イエスの考え方を調べ、どうすればそれに倣えるかに注目しましょう。「イエスの手本から、(1) エホバの考え方に倣うこと、(2) 謙虚でいること、(3) 健全な考え方をすること」について学びます。

エホバの考え方に倣う

5. ペテロはどんな時にエホバと同じ考え方ができませんでしたか。

5 ペテロはエホバと同じ考え方ができなかったことがありました。イエスは使徒たちに、自分がエルサレムに行き、宗教指導者たちに引き渡され、苦しみに遭い、最後には死ぬことになるかと伝えました。（[マタ 16:21](#) この時から、イエスは、自分が必ずエルサレムに行って長老と祭司長と律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、3日目に生き返る、ということを弟子たちに説明し始めた。）でも、ペテロはそのことを受け入れにくく感じました。イエスはイスラエルが希望を懸けていた約束のメシアでした。そのイエスが殺されるのをエホバが許すことなど、信じられませんでした。（[マタ 16:16](#) シモン・ペテロが答えた。「キリスト、生きている神の子です」。）それでイエスを脇に連れていき、「主よ、自分を大切にしてください。決してそのような目には遭いません」と言いました。（[マタ 16:22](#) すると、ペテロはイエスを脇に連れていき、「主よ、自分を大切にしてください。決してそのような目には遭いません」と言って、叱り始めた。）ペテロの考え方はイエスの考え方と違っていました。エホバの考えに自分を合わせていなかったからです。

6. イエスがエホバと同じ考え方をしていた、といえるのはどうしてですか。

6 イエスはいつもお父さんエホバと同じ考え方をしていました。イエスはペテロにこう言いました。「私の後ろに下がれ、サタン！あなたは私の邪魔をしています。神の考えではなく、人間の考えを抱えているからです」。（[マタ 16:23](#) しかし、イエスはペテロに背を向けて(*振り向いてペテロに)言った。「私の後ろに下がれ、サタン！あなたは私の邪魔をしています。神の考えではなく、人間の考えを抱えているからです」。）ペテロはイエスのことを思ってアドバイスしていました。でも、イエスはペテロの言葉をはねつけました。イエスが楽な生き方をすることは、エホ

バの願いではなかったからです。ペテロは自分の考えを神の考えに合わせなければいけないことを学びました。

7. ペテロがエホバの考えに合わせようとしたことはどんなことから分かりますか。（挿絵を参照。）

7 やがて、ペテロは自分の考えをエホバの考えに合わせられるようになりました。それが分かるのは、割礼を受けていない異国人にもエホバに仕える扉が開かれた時のことです。ペテロは、異国人の**コルネリオの所**に行き、真理を伝えるようにと指示されます。ユダヤ人は異国人とはほとんど交流を持たなかったため、ペテロはこの指示に従うために考え方を大きく変えなければいけませんでした。神がどんなことを願っているのかを理解すると、ペテロは考え方を調整しました。それで、コルネリオから自分たちの所に来てほしいと言われた時、「迷わずに」出掛けていきました。（使徒 10:28, 29 ペテロは言った。「よくご存じの通り、ユダヤ人にとって、別の民族の人と交友を持ったりそのもとを訪れたりするのは許されないことです。しかし神は、誰のことも汚れているとか清くないとか言ってはならないことを私に示しました。29 それで呼ばれた時、迷わずに來たのです。教えてください、私を呼んだのはなぜですか」。）ペテロが真理を伝えると、コルネリオと家の人たちはバプテスマを受けました。こうして異国人として最初のクリスチャンが誕生しました。（使徒 10:21-23 ペテロはその人たちの所に下りていって、こう言った。「私をお捜しのようですが、なぜ來られたのですか」。22 その人たちは言った。「神を畏れる正しい人で、ユダヤ国民全体からも評判の良い士官コルネリオが、聖なる天使から神の指示を受けました。あなたを家に呼んで、あなたの話すことを聞くようにという指示です」。23 それでペテロは、その人たちを招き入れてもてなした。次の日、ペテロは支度をして一緒に出掛けた。ヨッパの兄弟たちも何人か一緒に行った、34, 35 そこでペテロは話し始めた。「神が不公平ではないことがよく分かりました。35 神を畏れて正しいことを行う人はどの国の人でも神に受け入れられるのです、44-48 これらのことについてペテロが話しているうちに、神の言葉を聞く全ての人が聖なる力を受けた。45 ペテロと一緒に來ていた割礼を受けた信者たちはとても驚いた。無償の贈り物である聖なる力が異国の人々にも注がれていたからである。46 信者たちは、その人々が外国語で話して神をあがめるのを聞いた。それでペテロは言った。47 「この人たちは私たちと同じように聖なる力を受けました。水でバプテスマを受けることを誰が禁じられるのでしょうか」。48 そして、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けるようにと命じた。その人々はペテロに、何日かとどまるよう頼んだ。)



ペテロがコルネリオの家に入っていくところ。（7節を参照。）

8. エホバの考えに合わせようとする人はどうしますか。(ペテロ第一 3:8 と脚注)

8 後に、ペテロは当時のクリスチャンに「同じ考え方」でいるように勧めました。(ペテロ第一 3:8 最後に、皆が、一致した考え(*同じ考え方)、仲間をいたわる気持ち、兄弟愛、温かい思いやりを持ち、謙遜であってください。と脚注を読む。) 私たちみんなが同じ考え方では、聖書に書かれているエホバの考えに自分を合わせる必要があります。例えば、生活の中で王国を第一にするようにというイエスの言葉の通りにしたいと思って、全時間奉仕を始める人が会衆にいるとします。(マタ 6:33 ですから、王国と神から見て正しいこととをいつも第一にしましょう。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます。) そのような人に、「そんなに頑張らなくていいんじゃない？」などとは言いたくありません。むしろその人を褒め、できるだけサポートしたいと思います。

謙虚でいる

9-10. イエスが謙虚だったことはどんな出来事から分かりますか。

9 イエスは亡くなる前の晩、ペテロとほかの使徒たちに謙虚でいることの大切さを教えました。イエスは使徒たちとの最後の食事に必要なものをペテロとヨハネに準備させました。準備したものの中では、みんなの足を洗うのに必要な拭き布とたらいもあったはずです。では、謙虚にみんなの足を洗うのは誰でしょうか。

10 イエス自らその仕事を行います。普通なら召し使いがすることを見ても、使徒たちは衝撃を受けます。桁違いの謙虚さです。イエスは外衣を脱ぎ、拭き布を取って腰にくくり、たらいに水を入れて使徒たちの足を洗っていきます。(ヨハ 13:4, 5 食事の席から立ち、外衣を脇に置いて、拭き布を取って腰にくくった。5 それから、たらいに水を入れて弟子たちの足を洗い、腰にくくった布で拭き始めた。) 12 人全員の足を洗うには時間がかかったはずですが。その中にはイエスを裏切ろうとしているユダもいました。イエスはその仕事を終えた後、こう言いました。「あなたたちにしたことが理解できますか。あなたたちは私を『先生』や『主』と呼びます。それは正しいことです。私はそういう者だからです。それで、主であり先生である私があなたたちの足を洗ったのであれば、あなたたちも足を洗い合うべきです」。(ヨハ 13:12-14 イエスは弟子たちの足を洗い、外衣を着てから、再び食卓に着き、こう言った。「あなたたちにしたことが理解できますか。13 あなたたちは私を『先生』や『主』と呼びます。それは正しいことです。私はそういう者だからです。14 それで、主であり先生である私があなたたちの足を洗ったのであれば、あなたたちも足を洗い合うべきです。)

本当の謙虚さには私たちの内面が関係している。

11. ペテロが謙虚さを学んでいたことはどんなことから分かりますか。(ペテロ第一 5:5) (挿絵も参照。)

11 ペテロはイエスの謙虚さから学んでいました。イエスが天に戻った後、ペテロは生まれた時から足が不自由な男性を癒やしました。(使徒 1:8, 9 しかし、聖なる力があなたたちに働く時、あなたたちは力を受け、エルサレムで、ユダヤとサマリアの全土で、また地上の最も遠い所にま

で、私の証人となります」。9 イエスはこう言った後、使徒たちが見守る中で上げられ、雲のために見えなくなった。3:2 すると、生まれた時から足が不自由な男性が運ばれていくところだった。男性は毎日、美しい門と呼ばれる神殿の門の近くに置いてもらい、神殿に入る人たちに憐れみの施しを求めている、6-8 しかしペテロは言った。「銀や金はありませんが、私にあるもの、それを与えます。ナザレ人イエス・キリストの名によって、歩きなさい！」そしてペテロは男性の右手をつかんで立ち上がらせた。たちまち彼の足とくるぶしがしっかりした。8 男性は跳び上がって歩き始め、歩いたり跳びはねたり神を賛美したりしながら2人と一緒に神殿に入った。) 大勢の人がこの奇跡を見て、ペテロの近くに集まってきました。(使徒 3:11 その男性がペテロとヨハネにまだすがっているうちに、人々が、ソロモンの柱廊と呼ばれる所にいた彼らのもとに走り寄ってきた。皆ひどく驚いていた。) この場面でペテロが自分に注意を引こうとしてもおかしくありませんでした。有名になることや立場が重視される社会で育っていたからです。でも、そんなことはしませんでした。ペテロは謙虚に、自分ではなくエホバとイエスが称賛されるようにしました。こう言います。「イエスの名を通して、その名に対する私たちの信仰によって、あなた方が見て知っているこの人の足は丈夫になりました」。(使徒 3:12-16 これを見てペテロは人々に言った。「イスラエルの皆さん、なぜこのことにそんなに驚いて私たちを見つめているのですか。この人が歩けるようになったのは、私たちの力によるのでも、私たちが神への専心を示しているからでもありません。13 アブラハムとイサクとヤコブの神、私たちの父祖の神は、ご自分に仕えるイエスに栄光を与えましたが、あなた方はこの方を引き渡し、ピラトが釈放しようと決めていたのに、ピラトの前でイエスを認めませんでした。14 そうです、その聖なる正しい方を認めず、殺人をした男の釈放を求め、15 こうして、命へと導く方を殺しました。しかし神はイエスを生き返らせました。私たちはそのことの証人です。16 イエスの名を通して、その名に対する私たちの信仰によって、あなた方が見て知っているこの人の足は丈夫になりました。イエスに対する私たちの信仰によって、この人はあなた方の前ですっかり良くなったのです。) ペテロは当時のクリスチャンに宛てた手紙の中で、謙虚さを身に着ける必要があることについて書きました。ペテロが使った、身に着けるという表現は、イエスが拭き布を腰にくくって使徒たちの足を洗ったことを連想させます。(ペテロ第一 5:5 同じように、若い皆さん、年長の人(*長老)たちに従ってください。そして皆が、人と接する上で謙遜さ(*自分を低く見る考え方)を身に付けてください。神は傲慢な人に敵対し、謙遜な人に惜しみない親切を示してくださるからです。と2番目の脚注を読む。)



ペテロは奇跡を起こした後、謙虚にエホバとイエスが称賛されるようにした。

私たちも謙虚でいるなら、褒められることや認められることを期待せずに良いことをする。(11-12節を参照。)

12. どうすればペテロのように謙虚さを磨いていけますか。

12 私たちもペテロのように謙虚さを磨いていけます。謙虚さには、単に何を言うだけでなく、私たちの内面が関係しています。ペテロが勧めているように、謙虚でいるためには「自分を低く見る考え方」が大切です。私たちが人のために何かをするのはエホバと仲間を愛しているからです。褒められたいからではありません。本当に謙虚であれば、人に気付かれるかどうかに関わりなく、自分にできることを何でもしてエホバと仲間に仕えることができます。（マタ 6:1-4 注目されようとして人前で善行をすることがないように注意しなさい。そうでないと、天にいる父からの報いはありません。2それで、憐れみの施しをするとき、偽善者たちが人から称賛を受けようとして会堂や街路でするように、施す前にラッパを吹いてはなりません。はっきり言いますが、その人たちは報いを全部得てしまっています。3憐れみの施しをするときには、右手がしていることを左手に知らせてはなりません。4憐れみの施しをひそかにするためです。そうすれば、ひそかに見ている父が報いてくださいます。）（特に宣教は、エホバのお考えに倣った隣人に仕える優れた方法で、謙虚さを磨く素晴らしい方法といえる。）

「健全な考え方」をする

13. 「健全な考え方」をするクリスチャンはどんなことをしますか。

13 「健全な考え方」をするクリスチャンはどんなことをしますか。（ペテ 4:7 全てのものの終わりが近づいています。ですから、健全な考え方をしましょう。また、祈ることを常に意識して（*祈りのために目を覚まして）いましょう。）エホバの考えに沿った決定ができるようにベストを尽くします。また、エホバとの絆を何よりも大切にします。自分が何でも知っているわけではないことをわきまえ、いつも謙虚な態度でエホバに祈って頼ります。*健全な考え方については、jw.org か JW Library®にある「聖句の解説」の「テモテ第二 1:7 『神が私たちに与えてくださったのは、臆病の霊ではない』」という記事の「健全な考え方」に関する説明（「健全な考え方」があれば、聖書の教えに沿った賢い判断や決定ができます。難しい状況にぶつかっても冷静さを失わず、適切な判断ができます。人にどう思われるかよりも、神との関係の方が大切だと分かっているの、神の考えに合った決定ができます。）を参照。

14. ペテロはどんな時にエホバに頼ることを忘れてしまいましたか。

14 イエスは亡くなる前の晩、弟子たちにこう警告しました。「今夜、あなたたちは皆、私を見捨てます」。でもペテロは自信満々にこう答えました。「ほかのみんながあなたを見捨てても、私は決して見捨てません！」その少し後にイエスは弟子たちにこうアドバイスしました。「ずっと見張っていて絶えず祈り.....なさい」。（マタ 26:31 それからイエスは言った。「今夜、あなたたちは皆、私を見捨てます。『私は牧者を打つ。すると、群れの羊は散り散りになる』と書いてあるからです、33 それに対してペテロは言った。「ほかのみんながあなたを見捨てても、私は決して見捨て(d*つまずき)ません！」、41 ずっと見張っていて絶えず祈り、誘惑に負けないようにしていなさい。もっとも、心は強く願っていても(*やる気はあっても)、肉体は弱いのです。）このアドバイスの通りにしていれば、ペテロは自分がイエスの弟子であることを勇敢に認めることができたはずですが、結局ペテロはイエスのことを知らないと言ってしまい、ひどく後悔

しました。(マタ 26:69-75 さて、ペテロが外で中庭に座っていると、召し使いの女性がやって来て、「あなたも、ガリラヤ人のイエスと一緒にいました!」と言った。70 しかしペテロは皆の前でそれを否定し、「何のことを話しているのか、分からない」と言った。71 ペテロが門の方に出ていくと、別の女性が気付く、そこにいる人たちに、「この人はナザレ人のイエスと一緒にいました」と言った。72 ペテロは再びそれを否定し、「そんな人は知らない!」と誓って言った。73 しばらくして、周りに立っていた人たちが寄ってきて、ペテロに言った。「確かにあなたも彼らの仲間だ。なまりではっきり分かる」。74 その時ペテロは、「そんな人は知らない!」と言い、うそなら神罰を受けてもいいと誓い始めた。するとすぐに、おんどりが鳴いた。75 ペテロは、「おんどりが鳴く前に、あなたは3度、私を知らないと言います」とイエスから言われたことを思い出した。そして、外に出て激しく泣いた。)

15. イエスが、亡くなる前の晩にも健全な考え方ができたのはどうしてですか。

15 イエスは心からエホバに頼りました。イエスは完全でしたが、亡くなる前の晩も繰り返し祈りました。それで、エホバが望む通りのことを勇敢に行うことができました。(マタ 26:39) そして少し進んでいき、ひれ伏して祈った。「父よ、もしできることでしたら、この杯を私から取り去ってください。それでも、私が望む通りにではなく、あなたが望まれる通りになりますように」、42 イエスは、また2度目に離れていき、祈った。「父よ、私が飲まずに済むようこの杯が取り去られることはないのでしょうか。ただ、あなたの望まれることが行われますように」、44 それで3人を残してまた離れていき、3度目の祈りをして、もう一度同じことを語った。ヨハ 18:4、5 イエスは、自分に起きることを全て知っていて、進み出て、「誰を捜しているのですか」と言った。5 その人たちは、「ナザレ人イエスだ」と答えた。イエスは言った。「それは私です」。裏切り者のユダもそこに立っていた。) ペテロは、イエスが真剣に祈る姿をずっと忘れなかったはずです。

16. ペテロが健全な考え方ができるようになっていたことはどんなことから分かりますか。(ペテロ第一 4:7)

16 やがてペテロは、祈ることによってもっとエホバに頼るようになりました。復活したイエスは、ペテロやほかの使徒たちが伝道活動をやり遂げられるよう、聖なる力を与えると保証しました。そしてそれまではエルサレムにとどまるようにと言いました。(ルカ 24:49) そして、私はあなたたちの上に、天の父が約束したものを送ります。しかし、高い所からの力を授けられるまでは都にいなさい。使徒 1:4、5) そして、使徒たちと集まっていた時に、こう命じました。「エルサレムを離れないで、天の父が約束したものを、私から聞いたものを待っていなさい。5 ヨハネは水でバプテスマを施しましたが、あなたたちは何日もしないうちに聖なる力でバプテスマを施されます。)」ではその間、ペテロは何をしていましたか。仲間のクリスチャンと「ひたすら祈り続け」ていました。(使徒 1:13、14) 使徒たちは到着すると、滞在していた階上の部屋に上がった。ペテロ、ヨハネとヤコブとアンデレ、フィリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心な人シモン、ヤコブの子ユダである。14 皆、思いを一つにしてひたすら祈り続けた。何人かの女性、イエスの母親マリア、イエスの弟たちも一緒だった。) 後にペテロは手紙の中でクリスチャンに、健全な考え方をし、エホバに祈って頼るよう勧めました。(ペテロ第一 4:7)

全てのものの終わりが近づいています。ですから、健全な考え方をしましょう。また、祈ることを常に意識して(*祈りのために目を覚まして)いましょう。(読む。) ペテロ自身、どんなときもエホバを信頼していました。そんなペテロは会衆のみんなから頼られる、柱のような存在になりました。(ガラ 2:9 また彼らは、私に示された惜しみない親切についても知りました。それで、柱と見なされていたヤコブとケファ(*ペテロ)とヨハネが、私とバルナバと握手を交わし(*共に働くしとして右手を差し出し)、こうして私たちは異国の人々の所へ、彼らは割礼を受けた人たちの所へ行くことになりました。)

17. 優れた能力を持っているとしても、どんなことは欠かせませんか。 (写真も参照。)

17 健全な考え方をするには、頻繁にエホバに祈ることが欠かせません。どんなに優れた能力があるとしても、祈ってエホバに頼ることを忘れないようにしましょう。重要な決定をしなけばいけない時は特に、自分にとって何が一番いいかを知っているのはエホバだということを認め、祈ってエホバに導いてもらうことが大切です。



ペテロは祈ることによってエホバに頼るようになった。私たちも大切なことを決める時は特に、健全な考え方ができるようエホバに祈る。(17 節を参照。)* 写真や挿絵: 仕事の面接の順番を待っている姉妹が無言で祈っている。

18. エホバと同じような考え方をするためにどんなことができますか。

18 私たちはエホバに倣えるように造られています。そのことを本当に感謝できます。(創 1:26 神は言った。「私たちに似た者として人を造ろう。そして人に、海の魚、空を飛ぶ生き物、家畜、地面を動くあらゆる生き物を治めさせ、地球を世話させよう」。) もちろん完璧に倣うことはできません。(イザ 55:9 天が地より高いように、私の行い(*道)はあなたたちの行いより高く、私の考えはあなたたちの考えより高い。) でも、私たちもペテロのように成長していけます。神の考えに倣い、謙虚でいるようにし、健全な考え方をすることによってです。そうすれば、エホバと同じ考え方ができる人になっていけるでしょう。

どうすればできますか

1. エホバの考え方に倣う

・S08 ペテロは当時のクリスチャンに勧めたように「**私たちみんなが同じ考え方**でいるには、聖書に書かれている**エホバの考えに自分を合わせる**ことが必要。例えば、**生活の中で王国を第一に**するようにというイエスの言葉の通りにしたいと思って、**全時間奉仕を始める人**がいるなら、**その人を褒め、できるだけサポートしたい**と思う。」

2. 謙虚でいる

・S12 謙虚さには、**単に何を言うかだけでなく、私たちの内面が関係**している。**謙虚でいるため**には「**自分を低く見る考え方**」が大切。**私たちが人のために何かをするのはエホバと仲間を愛しているからで、褒められたいからではない。****本当に謙虚であれば、人に気付かれるかどうかに関わりなく、自分にできることを何でもしてエホバと仲間や隣人に仕えることができる。**(**特に宣教は、エホバのお考えに倣った隣人に仕える優れた方法で、謙虚さを磨く素晴らしい方法といえる。**)

3. 「健全な考え方」をする

・S17 **頻繁にエホバに祈る**ことが欠かせない。どんなに優れた**能力があるとしても、祈ってエホバに頼る**ことを忘れないようにする。**重要な決定**をしなければいけない時は**特に、自分にとって何が一番いいかを知っているのはエホバ**だということを認め、**祈ってエホバに導いてもらう**ことが大切。

30 番の歌 私の父、私の神、私の友

△ ペテロ第一 4 章 1 節 の「精神」という言葉は「考え方、物の見方」などとも訳せます。

△ 健全な考え方については、jw.org か JW Library®にある「聖句の解説」の「テモテ第二 1:7 『神が私たちに与えてくださったのは、臆病の霊ではな[い]』」という記事の「健全な考え方」に関する説明を参照。

△ 写真や挿絵: 仕事の面接の順番を待っている姉妹が無言で祈っている。

△ (ペテロ 4:1) キリストは人間として苦しんだのですから、皆さんもキリストと同じ精神を身に着けて*ください。苦しんだ人は、罪を捨てた人なのです。

または、「決意を抱いて」。

△ (ルカ 10:27) その男性は答えた。「『あなたは、心を尽くし、力を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない』、そして、『隣人を自分自身のように愛さなければならない』」。